

「未来の東京」を見据えた都政の新たな展開 ～構造改革を梃子として～

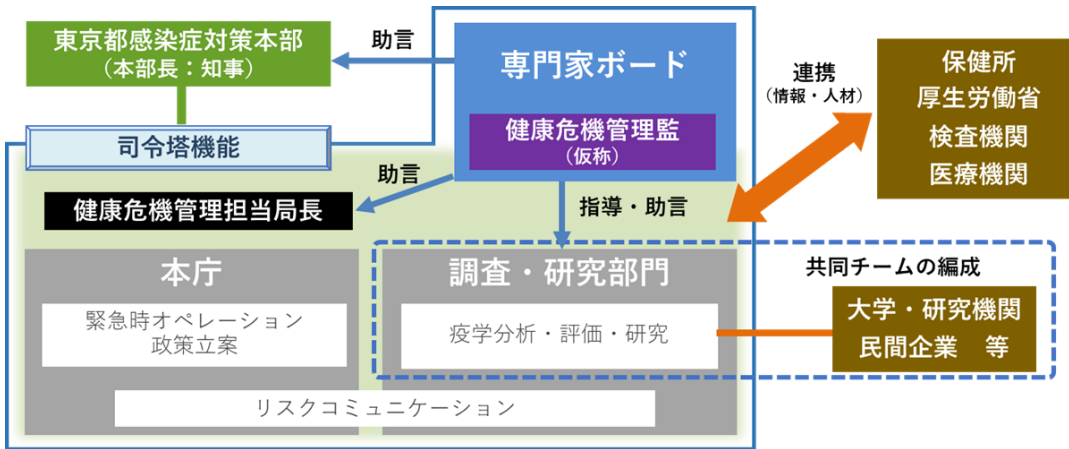
- 新型コロナウイルスの感染拡大防止と社会経済活動の両立を図る「ウィズコロナ」社会
 - ⇒ 難局に立ち向かっていく **「強固な執行体制」** を整える
- 社会全体のDXの遅れなど、我が国が抱える構造的な問題
 - ⇒ **「社会の構造改革」** と **「都政の構造改革」** を進める

① 新型コロナウイルスとの戦いに打ち勝つ体制を築き上げる

「東京版CDC（疾病対策予防センター）」の設置

- 様々な感染症対策を一体的に担う常設の「司令塔機能」
 （平時） **インテリジェンス機能**
 （危機発生時） **緊急時オペレーション機能**

全体像のイメージ（危機発生時）



検査・医療・療養体制の拡充

- 検査処理機関の増強、多様な検査体制の整備
- 新型コロナウイルス感染症の専用病院の確保
- 宿泊療養施設の確保
- 感染症医療支援ドクター（仮称）の創設

複合災害等への備え

- いつ起きてもおかしくない自然災害（風水害、地震、火山噴火等）
⇒ 感染症の観点を取り入れた防災対策の充実
- インフルエンザ流行期（新型コロナウイルスが感染拡大した場合）
⇒ 検査・医療提供体制の強化

② 構造的な課題の根源まで踏み込んで改革を進める

東京大改革2.0



都政の構造改革

- これまで進めてきた改革を継承・発展させ、
制度や仕組みの根本にまで遡った改革へと進化させる

- 都政のDX（デジタルトランスフォーメーション）推進を梃子とし、
- QOS（クオリティ・オブ・サービス）を飛躍的に向上させ、
- 都民の期待を上回る価値を提供する

都政のDXを強力に推進

- ✓ デスクや紙の書類中心の都政から、デジタル技術を駆使し、より高い価値を生み出すハイブリッドな都政へと進化させる

リアル

モノへの投資

机、椅子、窓口、印刷物、コピー機、PC



(導入例)

・サテライト、仕切板、検温

- ・ 密を回避
- ・ 機動性を確保

バーチャル

デジタルへの投資

(導入例) ・ Network ・ SaaS (※)

・ スマートフォン ・ クラウド

(※ Software as a Service)

- ・ ペーパーレス、オンライン申請等を推進

改革の突破口となるモデルケースを生み出す

[都政の構造改革第一弾]

- ・ 第一庁舎の執務室（ICT推進部，行政改革推進部）で、ウィズ・コロナに対応した未来型のオフィス・働き方のプロトタイプを創る

- ✓ 都庁内に先進事例を創る部署を設定し、アジャイル※に改革

デジタル推進エリア

※ 時代や状況の変化に柔軟かつ迅速に対応すること

- ✓ 成功事例を生み出し、都政全体へ展開

都政の構造改革 都庁における推進体制

構造改革推進チーム

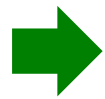
- ☑ 先駆的なコア・プロジェクトを強かに推進
- ☑ 各局事業の中での課題解決を行うプロジェクトを支援



直ちに改革に着手するとともに、
年度末を目途に「都政の構造改革実行プラン（仮称）」を策定

政策展開の新たな視点 サステナブル・リカバリー（持続可能な回復）

人々の持続可能な生活を実現する観点



新型コロナ以前の社会に戻るのではなく、「新しい日常」の定着やDXなどにより、多様性と包摂性に溢れた「人が輝く東京」を実現していく

いかなる状況でも学び続けられる仕組み



誰もが安心して働き続けられる環境



芸術・文化活動が続けられる環境



都政一体で取組を推進

長期戦略

- ✓ 「未来の東京」戦略ビジョンをバージョンアップし、今年度中に策定

令和3年度予算編成

- ✓ 新型コロナウイルスとの闘い
- ✓ 社会変革に適応したデジタル化
- ✓ 東京2020大会のレガシー

令和3年度組織定数方針

- ✓ 長期戦略の重要政策を支える体制

構造改革

- ✓ 構造的な課題の根源まで踏み込んで改革を推進